

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月25日

事業所名: 国立病院機構福岡病院 ひまわり

回答職員数: 6名

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	備考
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			利用者数や活動内容に応じて部屋を使い分けている。		
	2 職員の配置数は適切である	80%	20%		利用者数や利用者の状態に応じた職員配置を行っている。		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%					
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	40%		60%		事業の運営方針や目標を職員ミーティング等で定期的に共有する。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	40%		60%		保護者アンケート結果を職員ミーティング等で共有し、改善事項について定期的に協議する。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	40%		60%		公開していることを職員に周知する。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	80%			第三者による外部評価を受けることを今後検討する。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%		計画的に職員研修の機会を設定している。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%			子どもや保護者のニーズ、課題を職員間で共有し計画に反映する。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	40%	40%	20%			子どもの障がいの程度によって標準化されたアセスメントツールの使用が困難な場合あり。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	80%		20%	活動プログラムの立案者が活動案を職員に提示している。		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%		20%	利用者の発達段階、興味・関心を踏まえて活動を計画している。		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		80%	20%			平日、学校休業日のサービス提供であり、休日、長期休暇には実施していない。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	60%	20%	20%	利用者の発達段階、興味・関心を踏まえて活動を計画している。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			朝のミーティングにて職員間での情報交換や共有をしている。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%		支援終了当日に打合せできない場合は、翌朝ミーティングやカンファレンスにて行うようになっている。		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%					
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%					
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	40%	60%			職員にガイドラインを周知する。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	40%		当院で担当者会議が実施される場合は子どもの状況に精通した担当者が出席している。		当院以外で担当者会議が実施され、業務の都合上、出席困難な場合は書面にて子どもについての情報提供や情報交換を行っている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		80%	20%			学校休業時のサービス提供であるため該当しない。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	60%	20%	20%	子どものかかりつけ医を確認状態等に変化があった場合は、主治医からの診療情報提供書等にて確認をしている。		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	40%		必要に応じて、保護者や相談支援事業所を通じて情報提供いただいている。		

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	備考
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%		学校教諭との移行支援会議を実施している。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	20%	80%				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%				障がいのない子どもとの交流を活動プログラムとしては設定していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		100%				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%		カンファレンス等で情報共有に努めている。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		100%				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	20%		契約または契約内容変更時に事務職から説明している。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%		家族の会と病院職員との懇談会等を実施している。		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			事業所にて苦情解決規程を整備している。日頃より、保護者とのコミュニケーションに努めている。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	60%	40%		行事予定や内容はお便りにて発信し、日々の様子は連絡帳等で保護者に伝えている。		
	35	個人情報に十分注意している	100%					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%				病院全体の行事(健康フェア)では地域住民を対象に実施している。

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	備考
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%					
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	60%	40%		院内にて定期的に訓練を行っている。		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			院内に虐待防止委員会がある。		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%			保護者面談時に書面にて説明し、個別支援計画に明示している。定期的なカンファレンスにて検討している。		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%		20%			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			タイムリーな報告と情報共有を行っている。		